

平成 26 年北秋田市議会 6 月定例会行政報告

北秋田市議会 6 月定例会が開催されるにあたり、2 月 14 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

〈総務課関係〉

東日本大震災の被災地である岩手県山田町を引き続き支援するため、5 月 1 日より職員の長期派遣を行っております。期間は 12 月末までの 8 か月間で、家屋や土地の現況を確認しながら、固定資産課税台帳の整備等を支援します。

人権擁護については、6 月 1 日の「特設人権相談所」の設置や 6 月 8 日のふるさと踊りと餅っこまつり会場での啓発活動が行われました。また、5 月 26 日から市内 12 校の小中学校において「人権の花運動」が実施されるなど、人権擁護委員の活動によって人権尊重思想の普及が図られております。

平成 26 年度職員採用試験は、大学卒一般行政職及び保健師について 6 月 11 日から 6 月 30 日まで受験申込みを受け付けします。第 1 次試験は 7 月 27 日にノースアジア大学で実施されます。高校卒一般行政職、消防吏員等の試験についても、順次行っていきます。

5 月 12 日に一般社団法人秋田県 L P ガス協会と災害時における液化石油ガス及び応急対策用資機材の調達に関する協定を締結しました。大規模災害が発生した際、避難所運営等の災害応急対策に必要な液化石油ガス及び応急対策用資機材の調達について、協力を要請することができるという内容であります。

5 月 26 日に消防本部と合同で秋田県北秋田地域振興局を会場に、大規模地震を想定した防災訓練を実施いたしました。近隣自治会員との連携による要救助者の救出訓練、初期消火、応急救護訓練を行い災害発生時の初動対応、救助救急活動、情報収集活動等各々の役割を確認しました。

6 月 1 日に消防本部と合同で阿仁前田字桂坂地区を会場に、大雨による土砂災害を想定した全国統一防災訓練を実施いたしました。桂坂自治会員の避難誘導訓練、通報訓練、防災講座等を行い、災害発生時の初動対応と土砂災害の知識を習得しました。

6 月 8 日に国土交通省能代河川国道事務所、消防本部、北秋田市水防団と合同で米代川右岸鷹

巢橋下流河川敷を会場に、出水を想定した水防訓練を実施いたしました。木流し工、シート張工、積み土嚢工の訓練を行い、水防技術の向上と水防体制の強化を図りました。

〈総合政策課関係〉

市のホームページのレイアウトを一新し4月1日から公開しています。閲覧者が目的の情報にたどり着きやすいようなサイト構成にするとともに、スマートフォンにも対応しました。また、各課でのページ作成を可能とすることで、情報発信の迅速化を図りました。

3月21日、東京芸術大学美術学部教授でアーティストの日比野克彦氏を講師に迎え、国民文化祭あきた2014において北秋田市で実施する造船所プロジェクトについての講演会を開催しました。また、4月28日に、第29回国民文化祭北秋田市実行委員会の第3回総会を開催し、本番を迎える本年度の予算や事業計画を決定しました。

阿仁地区出身者による「東京圏あに会」総会が、5月25日に東京都台東区内で開催され、約170名が参加しました。

北秋田地域振興局と市の意見交換会を5月27日に開催し、地域防災力の強化や観光振興、道路整備など、県・市の重点推進事項の確認と連携強化などについて意見交換を行いました。

〈内陸線再生支援室〉

秋田県と仙北市、北秋田市、会社の4者で締結した「秋田内陸線の持続的運行に係る基本合意」で、経営損失額2億円以内とする目標は、各種支援団体、沿線自治会等の協力により、達成する見込みとなっております。

第3回秋田内陸線のりものまつりが、5月17日18日の2日間、阿仁合駅周辺を会場に開催され、初日はあいにくの雨天でしたが、市内外の家族連れなど、両日で約2,500人の来場者を数え、盛会裏に終了いたしました。

今後とも継続的な目標達成に向け、沿線観光のPRやイベント、小、中、高校生への通学定期券補助や国民文化祭効果による県内外の誘客に取り組んでまいります。

財 務 部

〈財政課関係〉

平成26年1月23日から平成26年5月20日までの工事等発注状況（500万円以上）は、次のとおりとなっております。

工事等発注一覧表

※ 500 万円以上(消費税含む)

平成26年1月23日～平成26年5月20日

工事名または業務名等	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
秋田内陸観光アテンダント事業	H26.4.1	11,304	北秋田市商工会
行政評価システム構築・導入支援業務	H26.5.12	7,184	行政経営(株)
総務部 2件		18,488	
光ファイバ通信網設備保守	H26.4.1	6,945	東日本電信電話(株)秋田支店
住民情報系システム使用料	H26.4.1	15,811	(株)アイシーエス 秋田支店
住民情報系システム更新委託	H26.4.1	30,378	(株)アイシーエス 秋田支店
内部情報系システムソフトウェア保守委託	H26.4.1	6,881	(株)アイシーエス 秋田支店
住民情報系システム運用保守委託	H26.4.1	11,599	(株)アイシーエス 秋田支店
内部系用パソコン鷹巣地区	H26.5.20	12,927	東光コンピュータ・サービス(株) 北秋田営業所
内部系用パソコン森吉、合川地区	H26.5.20	8,240	東光コンピュータ・サービス(株) 北秋田営業所
内部系用パソコン阿仁、外部地区	H26.5.20	7,927	東光コンピュータ・サービス(株) 北秋田営業所
財務部 8件		100,708	
クリーンリサイクルセンター乾式及び湿式コンベア補修修繕	H26.1.24	7,192	三熊興業(株)
鷹巣斎場火葬等業務委託	H26.4.1	6,833	東北ビル管財(株)北秋田営業所
資源ごみ等引取・処理委託	H26.4.1	26,917	(株)青南商事
1号炉ガス冷却塔天井補修工事	H26.4.15	7,884	エスエヌ環境テクノロジー(株) 東京支店
焼却施設運転管理業務(26.6月～27.3月)委託	H26.5.19	10,044	東北ビル管財(株)北秋田営業所

市民生活部 5件		58,870	
歯科巡回診療機器	H26.1.23	5,670	(株)大塚商店
北秋田市子育てサポートハウス管理運営業務委託	H26.4.1	14,789	社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会
北秋田市地域子育て支援センター業務委託	H26.4.1	7,491	社会福祉法人 鷹巣地の塩会
北秋田市地域子育て支援センター業務委託	H26.4.1	7,491	社会福祉法人 県北報公会
北秋田市児童館管理運営業務委託(鷹巣地区)	H26.4.1	23,434	社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会
健康福祉部 5件		58,875	
クウインス森吉源泉水中ポンプ等交換工事	H26.1.30	11,500	(株)明間ボーリング
農業災害復旧工事(3工区)	H26.3.3	13,398	(有)喜組
農業災害復旧工事(4工区)	H26.3.3	7,035	三光テクノ(株)大館営業所
農業災害復旧工事(19工区)	H26.3.3	20,328	(株)津谷組
農業災害復旧工事(21工区)	H26.3.3	5,512	(有)庄栄組
農業災害復旧工事(23工区)	H26.3.3	16,674	池田建設(株)
農業災害復旧工事(上沼尻地区)	H26.3.3	21,000	(株)大川建設
農業災害復旧工事(カラムシ岱地区)	H26.3.3	18,018	三光テクノ(株)大館営業所
農業災害復旧工事(2工区)	H26.3.4	9,660	(有)宗和
農業災害復旧工事(5工区)	H26.3.4	24,570	秋田機械建設(株)
農業災害復旧工事(6工区)	H26.3.4	15,225	かつら造園建設(株)
農業災害復旧工事(8工区)	H26.3.4	11,340	(有)長岐建設
農業災害復旧工事(12工区)	H26.3.4	5,019	(有)中嶋施設工業

農業災害復旧工事(16工区)	H26.3.4	12,075	(株)芳賀工務店
農業災害復旧工事(17工区)	H26.3.4	7,035	(有)長岐建設
農業災害復旧工事(22工区)	H26.3.4	12,600	秋田土建(株)
農業災害復旧工事(10工区)	H26.3.5	9,954	(有)松尾土木
農業災害復旧工事(13工区)	H26.3.5	5,764	(有)ビルド・ミヤノ
農業災害復旧工事(15工区)	H26.3.5	7,318	(有)松尾土木
阿仁スキー場圧雪車	H26.5.20	37,800	戸田鉄工(株)
阿仁熊牧場を中心とした体験プログラム開発・情報発信事業	H26.4.1	7,159	マタギの里観光開発(株)
森吉山魅力創造業務委託	H26.4.1	6,174	特定非営利活動法人 森吉山
産業部 22件		285,158	
河川災害復旧工事(準用河川 東又川)その2	H26.1.23	5,722	(有)ビルド・ミヤノ
公園災害復旧工事	H26.3.26	13,284	(株)大川建設
阿仁地区水道施設維持管理業務委託	H26.4.1	5,540	(有)ヤマグチ
阿仁地区小型合併浄化槽維持管理業務委託	H26.4.1	15,800	(有)鷹阿二清掃興業
道路改良工事(その他市道 川井神社線)	H26.4.28	11,880	(有)宗和
浄化センター維持管理業務委託	H26.4.30	63,720	山岡工業(株)
合川地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託(I型)	H26.4.30	5,454	(有)宗和
合川地区農業集落排水処理施設維持管理業務委託(III型)	H26.4.30	6,372	(有)宗和
森吉合川地区農業排水処理施設維持管理業務委託	H26.4.30	8,640	(有)宗和
道路改良工事(1級市道 七日市～松沢線)	H26.5.19	39,096	(有)丸栄建設
舗装維持工事(市道 脇神舟場線)	H26.5.19	6,588	(有)丸栄建設

宮前町団地建設工事	H26.5.20	696,600	(株)芳賀工務店
宮前町団地建設工事監理業務委託	H26.5.20	7,992	(株)渡辺佐文建築設計事務所
建設部 13件		886,688	
消防本部高機能消防指令センター整備工事	H26.5.20	235,980	富士通ネットワークソリューションズ(株)東北支店
消防本部 1件		235,980	
北秋田市立学校スクールタクシー運行業務委託	H26.4.1	6,596	秋田県ハイヤー協会北秋支部
北秋田市放課後児童クラブ運営管理業務	H26.4.1	17,446	社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会
北秋田市文化会館 自主公演業務委託(グレン・ミラー)	H26.5.14	5,994	(株)ノースロード・ミュージック
学校給食センター建設工事	H26.5.20	788,400	秋田土建(株)
設計監理・工事監理業務委託(学校給食センター建設工事)	H26.5.20	7,682	M's 設計室
教育委員会 5件		826,118	
北秋田市議会議員一般選挙公営ポスター掲示場設置・保守・撤去業務	H26.2.12	8,379	(株)小彌太
選挙管理委員会事務局 1件		8,379	
合計 62件		2,479,264	

<税務課関係>

平成 26 年 5 月末現在、軽自動車税と純固定資産税の当初調定額と納税義務者数（人、台）及び平成 25 年度各市税 4 月末の収納状況については、下記のとおりとなっております。

区 分	調 定 額		
	26 年度現年課税分	25 年度現年課税分	前 年 比
軽 自 動 車 税	76,664,400 円	74,942,500 円	102.30%
純 固 定 資 産 税	1,520,226,500 円	1,520,264,400 円	100.00%

区 分	納 税 義 務 者 数		
	26 年度現年課税分	25 年度現年課税分	対前年
軽自動車税	16,287 台	16,109 台	178 台
純固定資産税	16,571 人	16,649 人	△78 人

平成 25 年度分 各市税 4 月末収納状況

税 目		調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収納率 (%)	前年同 (%)
個人市民税	現	968,394,500	950,997,906	98.20	98.35
	滞	52,513,237	11,251,756	21.43	24.71
法人市民税	現	160,003,400	158,430,329	99.02	99.55
	滞	4,968,600	540,000	10.87	8.90
固定資産税	現	1,491,238,600	1,453,293,759	97.46	97.32
	滞	154,310,923	20,017,298	12.97	18.72
交 付 金		78,324,800	78,324,800	100.00	100.00
軽自動車税	現	74,051,200	72,459,000	97.85	97.82
	滞	4,922,066	965,537	19.62	14.26
市たばこ税		240,722,925	240,722,925	100.00	100.00
入 湯 税		3,114,900	2,878,800	92.42	97.55
国民健康保険税	現	622,231,300	575,982,713	92.57	92.90
	滞	167,474,554	29,114,565	17.38	20.48
合 計		4,022,271,005	3,594,979,388	89.38	89.33

市民生活部

<生活課関係>

平成 26 年度北秋田市廃棄物不法投棄監視委員会を 4 月 18 日に開催し、監視員 24 名に委嘱状を交付するとともに、平成 26 年度の活動について確認しました。

春のクリーンアップについては、4 月 20 日の早朝に市内全域（森吉・阿仁地区は 20 日以外複数日実施）で実施され、約 5,800 人の市民が参加しました。

春の狂犬病予防注射については、6月4日から6月23日までの日程で市内189カ所において巡回実施をしております。

クリーンリサイクルセンターへの平成25年度のごみの搬入量については、北秋田市分が11,636トンで、前年度実績11,701トンに比べ65トンの減少となっております。内訳は、可燃物が9,594トンで前年度実績9,674トンに比べて80トン減少しております。不燃物が502トンで前年度実績481トンに比べて21トン増加しております。リサイクル品7品目は608トンで前年度実績620トンに比べて12トン減少しております。古紙類は932トンで前年度実績926トンに比べて6トンの増加となっております。

4月6日から15日までの10日間「春の交通安全運動」が実施されました。運動初日には、市役所本庁舎前と森吉総合窓口センター前において総決起集会を開催し、交通安全運動の決意を新たにしました。

5月23日には、高齢者を狙った振込め詐欺及び健康食品等の送りつけ商法による消費トラブル防止のため、鷹巣地区のショッピングセンター前においてチラシ等を配布し啓発活動を行いました。

<市民課関係>

平成26年4月末現在の住民登録者数は35,104人（内外国人149人）で、その内訳は、男16,405人（同22人）、女18,699人（同127人）、世帯数は14,360世帯（内外国人を含む世帯143世帯）となっております。

国民健康保険については、平成26年4月1日現在の加入世帯数は5,660世帯で、被保険者数は8,938人（内、一般被保険者数、8,042人、退職被保険者数896人）で、その内、前期高齢者は、4,155人となっております。

後期高齢者医療制度の、平成26年4月1日現在の被保険者数は8,033人で、その内若年障害者認定数は213人となっております。また、保険料を年金からの天引きにより納入していただいている方で、年6回の天引きのうち、仮徴収額（前半）と本徴収額（後半）の金額に大きな差がある方について、来年度から年間を通じてできるだけ均等な金額になるように、今年の6月・8月の年金天引き額を調整する作業を進めております。

健康福祉部

<福祉課関係>

障害者総合支援法による自立支援給付の利用者は、4月1日現在で介護給付が326人（前年比

3人減)、訓練等給付が117人(同5人増)、前年度とほぼ同等となっており、児童福祉法に基づく障害児通所給付費の利用者は31人(前年度11人増)また、自立支援医療の更生医療が55人(同6人減)、育成医療が9人(同4人増)の利用となっています。

冬期間の採暖用燃料の多くを占める家庭用灯油等の価格高騰に対応し、低所得者世帯のうち、高齢者世帯1,572世帯、障害者世帯317世帯、ひとり親世帯95世帯、生活保護受給世帯233世帯、計2,217世帯に対し、灯油購入費等の助成を行いました。

民生委員・児童委員については、昨年12月1日現在、48人が欠員となっておりますが、その後39人の方々に厚生労働大臣からの委嘱状が交付されました。

平成26年度から保育料を減額改定いたしました。「保育園等の在り方検討委員会」の提言を受け、「保育園等整備プロジェクトチーム」が保育料の見直しを行ったもので、子育て世帯の負担軽減を図るものとなっています。

平成26年度の保育所入所は、4月1日現在、公立保育園459名(定員626名)、私立保育園366名(定員360名)、合計825名となっています。

「ひとり親家庭就学祝金」については、小学校及び中学校への入学時の経済支援として、本年度は小学生18人(前年17人)、中学生34人(前年39人)の児童生徒に交付いたしました。

鷹巣中央保育園の民間移管については、5月22日に社会福祉法人秋田県民生協会、保護者代表および市福祉課による「三者協議会」を開催し、8月頃までに保護者と保育園の職員に対する説明会を開催すること、9月頃には移管後の保育園の職員採用試験を実施することなど、今後の予定等についての協議を開始いたしました。

<高齢福祉課関係>

高齢者在宅福祉サービスの平成25年度実績については、高齢者障害者等外出支援サービス登録者数が441人(前年度446人)で、延べ利用回数は4,070回となっています。食の自立支援サービスの登録者数は241人(前年度227人)で、延べ30,310食を提供しております。また、家族介護慰労金については、204人(前年度261人)の方へ在宅での介護を支援しています。

福祉の雪事業は平成25年度から住民税非課税世帯を対象とし、登録者数は1,533人(前年度2,141人)で、延べ利用回数は10,686回となりました。

介護保険については、4月末現在の要支援・要介護認定者数が2,816人となっており、そのうちサービス受給者が2,372人で、認定者数に対する受給率は84.23%、昨年同期と比較すると認定者数は78人、サービス受給者は72人増加しております。

介護保険料については、年金からの天引きにより納入いただいている方で、仮徴収額と本徴収額で大きく異なることが想定される方について、年金からの年6回の天引き額ができるだけ均等になるようあらかじめ仮徴収の額を変更して平準化を図るため、該当する方には5月に6・8月の年金天引き額の変更通知を送付しております。また、本徴収額は前年度所得や同世帯家族

の課税状況が確定した後、7月に通知いたします。

地域包括支援センターが行っている平成25年度の包括的支援事業における総合相談件数は、延べ976件（来所186件・電話493件・訪問297件）となっており、そのうち権利擁護に関する相談は189件となっております。平成24年度に比べ、延べ件数で292件増加しており、今後ますます増加が見込まれるので、地域の関係機関と連携しながら対応してまいります。地域支援事業における介護予防事業については、要支援・要介護となるおそれのある方を対象に行う二次予防事業の平成25年度参加者数は121名と横這い状態です。今年度は、地域での高齢者の介護予防への取り組みを推進するため、事業内容を充実し一人でも多くの方が参加できるように会場を増やすなど、出前予防講座を開催してまいります。

<医療健康課関係>

4月1日から機構改革により地域医療係については、地域医療対策室として、北秋田市保健センターにおいて業務を行っております。

旧公立米内沢総合病院解体工事については、3月25日に完了しました。

北秋田市阿仁診療所の整備等に関する検討を行うための北秋田市阿仁診療所整備検討委員会については、5月13日に第1回目を開催し、委嘱状交付や今後のスケジュール等について説明しております。

平成26年度の第1回北秋田市民病院運営連絡協議会については、5月22日に開催し、市民からの要望等への対応や指定管理内容の改善に伴う検討事項等について協議しております。

また、第1回北秋田市地域医療連携センター運営協議会については、5月30日に開催され、平成26年度事業計画案について協議しております。

成人検診事業については、集団検診・医療機関での個別検診・ドックの3方式で実施し、並行して各種がん検診を実施しております。

集団検診については、4月10日より開始され森吉地区、合川地区、阿仁地区が終了し、鷹巣地区は6月30日までの予定で行っております。

胃がん検診については、4月15日より開始され、森吉地区、合川地区、阿仁地区が終了し、鷹巣地区は7月22日までの予定で行っております。胃がん検診無料クーポン券については、年度当初に40歳50歳の方全員に配布しており、大腸がん検診無料クーポン券については、40歳から60歳までの5歳毎の方全員に配布しております。受診率を高めるため、各地域健康相談や健康教育の場でPRを行っております。

婦人科検診（子宮頸がん・卵巣腫瘍検診・乳がん検診・骨粗しょう症検診）については、4月16日から開始され、森吉地区、合川地区が終了し、阿仁地区、鷹巣地区は8月6日までの予定で行っております。

介護予防事業については、栄養教室、口腔機能向上教室、パワーリハビリ教室、運動教室の各

事業を実施しております。また、健康づくり事業の一環であるウォーキングについては、スポーツ振興課・市民課と共催で5月12日に森吉山ダム周辺で開催した今年度の第1回目の「くまげらウォーク」に、104名の参加がありました。

母子保健事業については、不妊症・不育症治療費助成（幸せファミリーサポート事業）及び風しん予防接種費用助成を継続して実施しております。子育て支援では、乳児健診での絵本ふれあいタイム（ブックスタート）と子育てサークル（にじいろリボン）を継続して実施しております。

食育ボランティアとして活動している食生活改善推進協議会の総会が、5月23日市保健センターで行われ、食生活改善推進員の活動報告がありました。食育推進事業については、食育推進計画に基づき各世代に向けて食育事業を展開していきます。

産 業 部

〈農林課関係〉

稲作については、一部で雪解けが遅い地区もありましたが、全体的には順調に雪解けし、春作業が平年並みとなり、田植え作業についても、5月10日頃から始まり平年並みの最盛期となりました。なお、エルニーニョ現象の発生により冷夏が予想されていますので、今後はJAを始めとする農業指導関係機関との連携を密にして、水管理等の適正指導を啓発してまいります。

畑作については、山の芋、スイートコーンとも、作業が順調に進み平年並みとなりました。

今年の牧場運営については、6月4日に高津森牧場に入牧し、夏山冬里方式による低コストで健康な肉用牛の生産に向け、終牧まで事故のないよう草地の管理や周辺整備を進め、安全で安心できる肉用牛生産に貢献できるよう努めるとともに、農家の生産活動の維持促進を図り経営の安定に努めてまいります。なお、鷹巣牧場については、今年度パドック、牛舎の建設工事を行うことで全ての工事が終了しますので、来年度から入牧を再開する予定です。

2年前から農地・水保全管理支払交付金の第2期対策事業が始まりましたが、要綱が改正され「多面的機能交付金」と名称が変更となりました。交付単価や活動内容等も変更になりましたが、引き続き全組織（79組織）で活動に取り組むほか、新たに数組織が活動に取り組む予定です。

中山間地域等直接支払制度事業については、第3期対策事業の最終年度となりました。今年度は、18地区で面積106.3ヘクタールが実施見込みで事業費は21,998千円を予定しております。

土地改良事業関係については、県営農村整備事業による4地区で事業実施、調査事業が2地区で始まっております。今後とも農村基盤の再整備事業を推進してまいります。

林道施設災害復旧事業については、繰越事業（3件）の立又線1号箇所ほか2件の工事が順調に進んでおります。また、融雪による林道への落石及び倒木が多数あり、地域の協力を得ながら通行の確保に努めております。

有害駆除については、鷹巣地区2件、阿仁地区1件の合計3件(5月30日現在)の熊の捕獲許可を申請し、農林作物の被害拡大及び人的被害の未然防止に努めております。引き続き、北秋田地域振興局、警察、猟友会等と連携を密にし、市民の安全確保を図ってまいります。

<商工観光課関係>

緊急雇用創出等臨時対策基金事業については、県の起業支援型地域雇用創造事業を活用し、3事業5名を雇用しています。

特産品事業については、4月25日に森吉山麓村興し会主催による『第3回BM(バター餅)ー1グランプリ』がクウインス森吉で開催され、市内外の15の団体・個人から個性あふれる32種類のバター餅が出品されました。審査員は、『見た目』、『食感』、『香り』などを慎重に審査し、各賞が受賞者におくられました。

5月24日25日に、市のアンテナショップがある東京都板橋区ハッピーロード大山商店街振興組合で、『おらほの自慢こ 北秋田の春』をテーマに北秋田市春イベントが開催され、シドケやボンナ、アスパラガスをはじめとする山菜や野菜、バター餅など多くの特産品が販売され、大勢の買い物客で賑わいました。

観光振興につきましては、4月26日に既存のマタギの里熊牧場プレオープンを開催し、県内外から多くの家族連れが来場し、小動物と触れ合ったり写真を撮ったりと大いに賑わいました。また、7月19日に開催されます新施設のリニューアルオープンに向けたPRも実施しました。

4月29日には、「桜を見る会」が桜満開のもと鷹巣中央公園で開催され、ステージにおいて行われた歌謡ショーや演奏などを聞きながら大いに賑わいました。5月6日までの期間中は好天に恵まれ、延べ約4,800人の来場者がありました。

森吉山阿仁スキー場では、キャビン付き圧雪車を利用したピステンツアーを開催し、延べ185名の申込みがあり、ほとんどの方が初めての体感を楽しみました。

5月3日には「森吉山山開き」が開催され、約200名の方が森吉側から森吉神社を目指し登山し、安全祈願をしました。当日は好天で参加者は春山登山を満喫しました。また、「竜ヶ森山開き」が6月1日に行われました。今年は3年ぶりに北秋田市側と大館市側からの登山となり山頂合流後、参加者全員で一年の無事故と安全登山を祈願しました。

同じく6月1日に「太平湖湖水開き」が行われ、多くの方が遊覧船から新緑に囲まれた湖の景色を満喫しております。

「森吉山紀行」が6月7日から始まり、春の高山植物の数々を鑑賞しようと、県内外から訪れた利用客で賑わっております。

6月8日には、第30回ふるさと踊りと餅っこまつりが開催され、婦人会や子どもたちによる太鼓と踊りのパレードや、歩行者天国での餅の引き伸ばし大会など、多くの催しに沢山の人で賑わいました。

建設部

<都市計画課関係>

北秋田市日沿道・あきた北空港～二ツ井白神間建設促進期成同盟会の平成26年度総会が5月29日に開催されました。引き続き国、県への要望活動や、産業祭等、市のイベント会場での啓発活動及び工事の進捗状況の視察等を通じて、早期完成に向けた運動を進めてまいります。

引き続き実施している住宅リフォーム緊急支援事業については、5月末で補助金交付決定数111件、交付決定額14,505千円となっております。

市営住宅宮前町団地建設事業については、5月に工事請負契約を締結し、平成27年7月末の完成に向け建築本体工事（RC構造、4階建て、戸数40戸）に着手しております。

公園災害復旧工事（米代川河川緑地）については、3月下旬に発注し繰越事業として6月下旬の完成に向け順調に進捗しており、7月の供用再開に向け準備を進めてまいります。

<建設課関係>

道路工事関係については、舗装維持工事（上杉塚の岱線、向本城米内沢停車場線、脇神舟場線）3件、道路維持工事（小阿仁線）1件、道路新設改良工事（川井神社線、七日市～松沢線、掛泥新墓地線）3件、測量設計委託（北家下～大町線、駅前木戸石線、長坂線、高村岱4号線、下町3号線、綴子～小田線、伊勢町6号線）7件を発注しております。

社会資本整備交付金事業については、橋梁補修工事（伏影橋）1件を発注しております。

公共土木災害復旧事業については、道路災害復旧工事（大印ノロ川線1号、大印ノロ川線2号、東の又線）3件を発注しております。

冬期間、通行止めとしていた大印ノロ川線は、除排雪が完了したため通行止めを解除しましたが、5月15日のパトロールにおいて河川護岸の一部洗掘により橋梁に影響を及ぼす恐れがあることが判明したため、同日から応急工事が終了するまでの概ね6月いっぱいを目途に西ノ又沢橋から通行止めとしております。

同じく通行止めとしていたブナ森線は6月3日から通行止めを解除しています。

<上下水道課関係>

簡易水道事業については、森吉合川地区統合簡易水道施設整備事業に係る水源地揚水試験業務委託、浄水場他実施設計業務委託の2件を発注しております。

公共下水道事業については、鷹巣処理区の坊沢字中柳生の一部、深関街道下の一部、綴子字佐戸岱の一部、田中の一部、中堤の一部、田中家前の一部、田中下モの一部、柳中の一部、鷹巣字

平崎上岱の一部、脇神字赤川岱の一部、米ノ岱の一部、平崎上岱の一部、平崎川戸沼の一部及び平崎の一部 10.3ha が 4 月 1 日に、綴子字田中表の一部、田中の一部、美田古の一部及び中堤の一部 4.2ha が 5 月 1 日に、綴子字田中表の一部、田中の一部及び田中家前の一部 7.8ha が 6 月 1 日にそれぞれ供用開始となります。

下水道供用区域面積は、鷹巣処理区で 325.2ha になります。

工事の発注状況については、鷹巣処理区において綴子字美田古、田中表及び田中地内で面整備工事 4 件が完成し、脇神字平崎上岱地内で面整備工事を発注しております。

また、管渠詳細設計業務委託及び地質調査業務委託を発注しております。

消 防 本 部

<常備消防関係>

2 月から 5 月までの火災については、9 件発生し建物火災が 2 件、林野火災その他火災が 7 件発生し、前年比 2 件の増になっております。昨年は 5 月に林野火災その他火災が集中しましたが、今年は 4 月に林野火災その他火災が集中し、ホームページ等による注意喚起や巡回広報を強化し火災予防に努めました。

2 月から 5 月までの救急出動件数は 511 件で、急病 351 件、一般負傷 61 件、転院搬送 54 件、交通事故 29 件等となっております。搬送人員は 478 人で、65 歳以上の高齢者が約 71%であります。ドクターヘリは 15 件出動要請しております。また、救助出動件数は 18 件で、そのうち救助活動で 4 人を救出しております。

職員研修については、新規採用職員 4 名が秋田県消防学校初任教育に 4 月 9 日から入校し、基礎知識や技術の習得に励んでおります。また、救急救命士養成研修所に 4 月 3 日から 1 名が入所して研修中であり、救急救命士の国家試験に合格した 2 名は就業前研修を実施中であります。4 月からの救急救命士の処置範囲の拡大に伴う追加講習を救命士全員に実施しており、また指導的立場の救急救命士を養成して救急体制の充実を図っております。

訓練については、「県民防災の日」にちなんだ防災週間中、市内 4 ヶ所で学校や事業所等と地域住民が参加して防災訓練を実施しております。

<非常備消防関係>

春の火災予防運動期間中、初日の 4 月 6 日は市内 4 ヶ所で一斉放水訓練を実施しております。訓練終了後は各地区で防火巡回や火災予防のチラシを配布して、火災予防の意識高揚に努めております。

5月27日には米代川の北秋田地区重要水防箇所を巡視し、6月8日には米代川河川敷で水防訓練を実施し、各種の工法を習得して水害に備えております。

教育委員会

〈総務課関係〉

現在建設中の合川小学校の工事進捗率は4月末で33%となっており、12月の完成を目指して順調に進んでおります。今後は、グラウンド工事と外構工事、及び倉庫の建設を予定しております。

県からの受託事業、あきたリフレッシュ学園は4月14日開園式を行い、2名の入学者でスタートしました。昨年度は年間で16名、延べ197日の利用日数でした。このうち、中学3年生7名全員が高校合格を果たし、現在も元気に登校しているとの報告を受けております。また、この生徒達が自主的に、高校の運動会の代休を利用して学園を訪問し、現在入園している生徒達に高校生活についての情報交換も行っております。

〈学校教育課関係〉

平成26年度の小・中学校(4月7日、8日)の入学式が行われ、小学校208名、中学校238名の児童・生徒が新たな学校の門をくぐりました。5月1日現在の児童生徒数は、小学校1,277名(13校)、中学校790名(5校)で、学級数は小学校が97、中学校が39となっています。平成27年度には、統合により現在建築中の合川小学校がスタートします。

市内小・中学校に関する調査研究と教職員の研修を推進する北秋田市教育センターの所員総会が4月25日に行われ、新たな顔ぶれにより今年度の研修がスタートしました。

各小・中学校の運動会・体育大会は5月10日を皮切りに行われ、家族や地域の方々の声援を受けながら、元気いっぱい躍動する子どもたちの姿が見られました。

4月22日には、全国学力・学習状況調査が行われ、各小学校の6年生、各中学校の3年生が日頃の学習の成果を試す問題に挑みました。

部活動の活躍も目立ち、県春季ソフトテニス大会では、森吉中男子が団体優勝、女子が3位でした。また、県春季相撲大会では、阿仁中の柴田敏君が1年個人で優勝しました。

〈生涯学習課関係〉

今年度の高齢者大学については、高鷹大学 215 人、合川ことぶき大学 72 人、森吉大学 83 人、阿仁生き活き大学 60 人で計 430 人の受講生が入学・開講式を終え、意欲を新たに今年度の学習活動をスタートしております。

各公民館については、本年度の講座を中央公民館 8 講座、合川公民館 5 講座、森吉公民館 6 講座、阿仁公民館 8 講座、鷹巣 6 地区公民館 11 講座で計 38 の定期講座を開設し、市民の皆さんへの学習の場の提供に努めております。

また、「第 39 回誕生の森記念植樹」が 5 月 18 日に三木田の翠雲公園で行なわれました。平成 25 年度中に合川地区で誕生した 32 人のうち 24 人と、子どもとその家族約 100 人が参加して、子どもの成長を祈ってあじさいの苗を植樹しました。

地域全体で学校教育の支援を行う学校支援地域本部事業は、市内全校（18 校うち単独実施 6 校）で実施しております。

放課後児童クラブ事業については、共働き世帯などの児童の健全育成、子育てと仕事の両立支援のため、放課後子ども教室と連携を図りながら市内 13 ヶ所で 515 人の学童保育を実施しております。

芸術文化の振興について、浜辺の歌音楽館第 87 回定期演奏会「白石光隆ピアノリサイタル」が 2 月 22 日に浜辺の歌音楽館で、成田為三生誕 120 周年と浜辺の歌音楽館開館 25 周年記念事業として開催されました。

文化会館の自主事業では、3 月 3 日にわらび座公演「遠野物語」、3 月 9 日には、市内 4 団体による「民謡祭」が開催されました。更に 3 月 25 日には、歌手のばんばひろふみ・太田裕美による「スプリングコンサート」が開催され、399 人の観客が歌手の生歌に聞き入りました。

図書館の読書推進事業については、平成 25 年度北秋田市読書感想文・感想画コンクールの表彰式が 3 月 1 日に合川農村環境改善センターにおいて開催され、感想文の応募は前年より 33 点多い 165 点、感想画の応募は前年より 72 点多い 515 点でありました。

伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録推進事業について、「カムバック・縄文サーモン」と題したサケの稚魚放流イベントが 4 月 19 日に伊勢堂岱遺跡下の湯車川で行われ、大きくなって戻って来る事を願いながらサケの稚魚 3 万匹を放流しました。また、世界遺産登録に向け見学環境整備を行っている伊勢堂岱遺跡の特別公開を 5 月 3 日から 6 日に実施しました。4 日間で約 900 人が訪れ、ボランティアガイドの説明を熱心に聞いていました。

<スポーツ振興課関係>

陸上競技シーズンの幕開けを告げる、第 52 回河田杯マラソン・大館北秋田ロードレース大会が 4 月 19 日に北秋田市役所本庁舎前をスタート・ゴールとするコースで開催されました。当日は、天候も良く絶好の大会日和となり、市内外の小学生 187 人から一般までが参加し、家族からの熱い声援を受け健脚を競い合いました。

指定管理者制度を導入している北秋田市民プールの平成 25 年度利用者は、プールが 30,416 人、トレーニングルームが 17,893 人の合わせて 48,309 人でした。

同じく指定管理者制度を導入している北秋田市営薬師山スキー場の平成 25 年度利用者は 7,711 人でした。

5 月 28 日に、北秋田市は昨年続き 2 回目のチャレンジデー 2014 に参加しました。北秋田市の参加者は 16,167 人、参加率 45.7%、対戦相手の岡山県備前市の参加者は 24,717 人、65.9%で残念ながら敗れました。しかし、多くの自治会・町内会をはじめ、各事業所等のご協力と積極的な参加をいただき、昨年より 7,919 人の参加者が増えました。「スポーツを通して北秋田市を元気にしよう！」をテーマに取組んだチャレンジデーを皆さんに十分理解していただき、北秋田市全体が元気になるような取組を今後も推進してまいります。